

タイ・マレーシア・シンガポールの大学入試制度

研究開発部情報処理研究部門 清水 留三郎

はじめに

平成7年10月に短期在外研究員としてタイ・マレーシア・シンガポールの大学入試制度を中心に実地調査を行う機会が与えられた。ここにその概要を報告する。

これらの3国はASEANの中でも安定した自由主義体制を維持して、経済発展が著しく、人材育成のための教育制度も拡充の過程にある。また、全国的な大学入試制度を既に整備している。

1. タイの大学入試制度

タイの教育制度は、日本と同じく、初等教育6年、前期中等教育3年、後期中等教育3年、高等教育4～6年である。初等教育は受ける義務が課されている。中等教育までは教育省(ME: Ministry of Education)が担当し、高等教育の中の総合大学は大学省(MUA: Ministry of University Affairs)が担当している。

大学入試は、従前各大学が独自に志

願者に課していた。しかし、志願者にとっては、複数の大学でそれぞれ試験を受けなければならないことが煩わしいし、大学にとっては、入学辞退への対応が煩わしいことから、共通入試JNUEE (Joint National University Entrance Examination)と第4志望までの一括出願の制度が導入された。この制度を利用するか否かは各大学に任されている。

試験科目は、必答の国語、社会と選択の英語、数学、物理、化学、生物であり、解答形式は多肢選択である。試験の実施には、大学省が大学教員から毎年組織する委員会が、出題・監督・採点に当たっている。1995年には、約42.5千人の入学定員を目指して約14万人の受験者があった。

選抜は各大学・学部が要求する科目の総合成績に基づいて行われる。

2. マレーシアの大学入試制度

マレーシアの国家による教育制度は、初等教育6年、前期中等教育3年、

後期中等教育2年、大学予科2年、大学3～6年である。中等教育までは無償である。中等教育以降の使用言語はマレー語に統一されている。小学校には、マレー語の他に、中国語とタミール語を使用するものがあるが、後の2者から中等教育に進学するには、1年の移行学級(Remove class)でマレー語の教育を受けなければならない。

教育の各段階終了時に、従前ケンブリッジ大学地方試験シンジケートに委託して実施してきた試験を引き継ぐ形で、教育省(Ministry of Education)によって全国試験が行われる。UPSRが初等教育終了時に、PMRが前期中等教育終了時に、SPMが後期中等教育終了時に、STPMが大学予科終了時に行われる。最初のUPSRを除いて、進学の際には選抜に用いられる。

後期中等教育終了時のSPMと大学予科終了時のSTPMの2つの試験が大学への進学に関係する。SPMはMalaysian Certificate of Education (マレーシア教育修了証書)を、STPMはMalaysian Certificate of Higher School (マレーシア上級学校卒業証書)をそれぞれ意味するマレー語の頭文字である。STPMの実施機関としてマレーシア試験審議会(Malaysian Examinations Council)が設置されている。

イギリスでは、SPMはGCSEと、

STPMはA levelと同等と認められている。

試験科目には、一般教養、各種言語、社会科の各科目、数学の各科目、理科の各科目の他に、美術、音楽、製図も含まれ、解答形式はイギリス流の論述である。合格者は、A, B, C, D, Eの5段階で評価される。

大学が入学者に合格を要求する典型的な科目は次の通りである。

- (1) SPM 5科目
- (2) STPMの一般教養と他の2科目

大学への出願は、第5志望までを一括して、教育省の高等教育局大学課(Central Unit of Universities)に提出する。選抜は各大学・学部が要求する科目の総合成績に基づいて行われる。

3. シンガポールの大学入試制度

シンガポールの教育制度は、マレーシアと同様に、初等教育6年、中等教育4～5年、大学予科2～3年、大学3～6年である。中等教育と大学予科は合わせて7年である。

大学への進学に関する試験として、中等教育終了時のGCSEと、大学予科終了時のA levelがある。これらの試験は教育省(Ministry of Education)によって行われる。

試験科目には、一般教養、各種言語、社会科の各科目、数学の各科目、理科

の各科目があり、解答形式はイギリス流の論述である。合格者は、A1, A2, B3, B4, C5, C6の6段階で評価される。

大学が入学者に合格を要求する典型的な科目は次の通りである。

- (1) GCSE の第1言語としての英語
- (2) (a) GCSE または A level の第2言語としてのマレー語、中国語、またはタミル語、あるいは(b) GCSE の

第1言語としてのマレー語、中国語、またはタミル語

- (3) GCSE 又は A level の一般教養
- (4) A level の3教科

大学への出願は一括して、教育省の大学課に提出する。選抜は各大学・学部が要求する科目の総合成績に基づいて行われる。